

# YELL ～エール～

朝晩は少しずつ涼しくなり、気がつけば蝉の声も聞かなくなってきました。夏休みを終えた学校は前期終盤を迎えようとしています。2011年の夏はどうでしたか？胸に残る出来事がありましたか？元気にすごしていましたか？学校では10月の体育大会、11月の海外修学旅行に向けた準備が始まっています。それらの取り組みをしっかりと実り多き行事になるようにしましょう。

特に修学旅行は異国の地で学ぶことも山のようにありますが、同時に一步間違えると大事故につながることも多々あります。一人一人が注意を守り責任を持って行動しなければなりません。そのことを自覚して現地に行ってから戸惑うことのないようにしましょう。

では11期生のこの夏の出来事をいくつか紹介します。皆さんも「この夏こんなことあってん！」ということがあれば是非、聞かせて下さい！



## 11期生 in summer PART II

### Study Camp 2011

8月9日～11日にかけて神戸セミナーハウスで行われたStudy Camp 2011に約40名の11期生諸君が参加してくれました。これは昨年のStudy Campより10名程多い参加で、諸君が今年は何のクラブでも主力となっている2年次生であることを考えれば、積極的な参加であったと感じています。

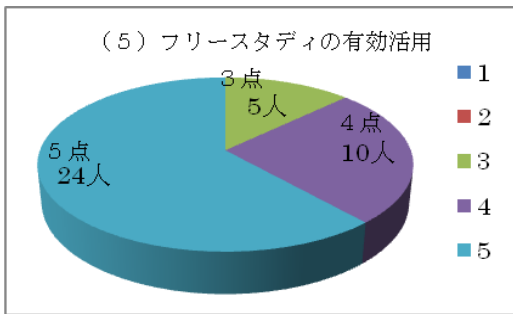
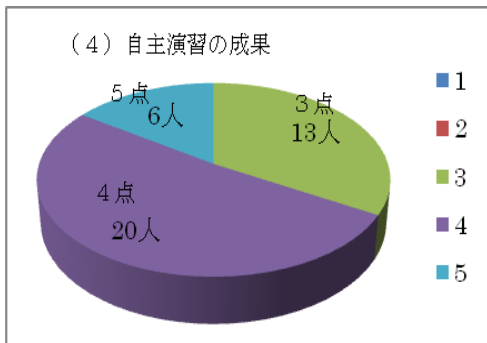
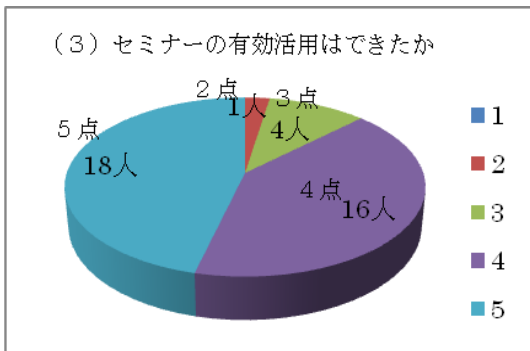
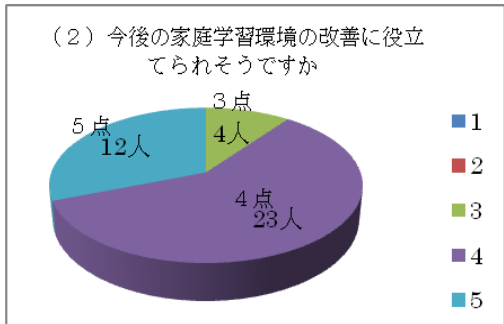
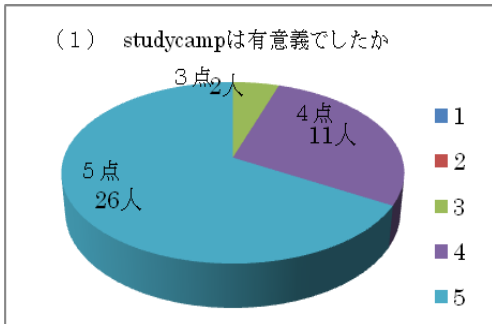
2泊3日の期間中、夜は11時まで学習し、朝は6時には起床し学習するといったタイトな日程でした。しかし普段どうしてもテレビや携帯電話や音楽など誘惑の多い学習環境を断ち切り、学習に専念する3日間を経験してもらおうと企画した当初の目標は、ほぼ達成できたのではないかと思います。

来年も8月上旬にStudy Camp 2012を実施する予定です。受験生となる来年は過去2回とは少し違った内容を企画しますので、是非多数の人に参加してほしいと思います。



～参加者アンケートより～

Study Camp 参加者に 5 点満点で自己評価をしてもらいました。その結果が以下の通りです。



参加した人達はこの 3 日間で勉強に集中できたことに達成感を感じているようでした。その感想の中で、やはり家では「携帯電話」や「音楽」「テレビ」などの誘惑が多かったり、部活で疲れて寝てしまうことが多いけど、スタディーキャン

プでは周りに頑張っている友人の姿があり自分も頑張れた、というものが多数見られました。昨年、今年と講義形式の「セミナー」を沢山開いてもらったり、「自主演習教材」を教科ごとに用意してもらったりしました。しかし来年は受験生となる年。自らが学習内容を決め、自らの課題に取り組むということが重要になってきます。部活動などで今年は参加できなかった人も、来年は是非厳しい環境に身を置き共に頑張れるようにしましょう！

## スタディーキャンプに参加して

2年4組 福元太一

スタディーキャンプが終わった時の感想は『マジ勉強したわぁ』につきます。事実2泊3日（初日の10:00から3日目の15:00までの53時間）の中で勉強に24時間も注ぎ込んだのです。メシ、風呂、睡眠以外、すべて勉強でした。私は昨年もスタキャンに参加したのですが、今年もこれだけ勉強したのに全く嫌になりません。そう感じる理由は、勉強合宿という機会を用意してもらい、先生方は忙しい中で私達に授業をしてくださるので、『絶対にスタキャンに参加したからにはできるだけ多くの知識を詰め込んで帰ってやる!』という気持ちになるからです。そしてもう一つスタキャンに参加して得たことは勉強をする習慣と『俺はこんなに頑張れた』という自信がついたことです。スタキャン前は部活で疲れて机に向かう気力がありませんでしたが、スタキャン後は毎日自分が机に向かっていることが驚きです。今年、部活などで行けなかった人も来年は是非参加してみてください。



## 11期生 in summer PART II

次に海外で様々な経験を積んできた諸君の話を紹介します。

### カナダホームステイ

2年1組 渡辺明日香



私はこの夏休みに10日間カナダへホームステイに行ってきました。初めての海外だったのでとても緊張していましたが、ホストファミリーがすごく親切にしてくださり、私のつたない英語を理解しようと熱心に話を聴いて下さったのでとてもうれしかったです。しかし、今のままの英語力では外国では全然通用しない事が身にしみてわかりました。自分の伝えたい事が伝えられなくて悔しい思いもしました。

これからは、英語の学び方を少し変えて、どうしたら実際にこの文法を会話の中で使う事が出来るかを考えたりしていこうと思います。私にとってこの10日間は忘れる事の出来ない大切な思い出になりました。このような経験が出来た事に感謝し、これからも毎日を大切に頑張ろうと思います。





2年2組 井上 千秋

高校二年の夏休み、私はそれを利用してカナダへホームステイに行ってきました。毎日が新しいことの連続で、見るもの全てがキラキラと輝いて見えました。本場の英語にふれることでコミュニケーション力が鍛えられ、自分から何かをするという自主性がどんどん自分のなかで

養われていくのを感じました。カナダの大自然はとても雄大で、ふと上を見上げたときの空の大きさに思わず目を奪われました。ステイ先の家の窓からは野生のリスが見え、世界一長いゴンドラからは野生の熊が見えました。私が一番感じた違いは「視線」でした。日本では、外国の人について視線が集まるということがよくあります。しかしカナダではそのような事はありませんでした。日常生活で様々な人種の人とふれあう機会が多い国だからこそだと思います。私にはそれが凄く素晴らしい事に思えました。この経験を通して価値観や思考が大きく変わったかと問われると、正直分かりません。しかしこの経験が今後の私の進路や人生に関わってくることだけは確かです。良い意味での影響や刺激を沢山受けた高校二年の夏休みでした。

## オーストラリア研修

2年5組 宮本 さつき

今夏、私は初めて海外に、オーストラリアに、二週間行ってきました。ホームステイ先での英語や留学生が集まる学校でできた外国の友人とへたくそながらもコミュニケーションをとった中で学んだことは、積極的にしゃべりに行くこと。外国の友人は私と同じくらい英語ができない人もいてこっちもあっちも言ってる意味はよくわからん、なんてことよくありましたが、身振り手振り、他の単語に置き換える、などして会話をしていました。文法が間違っている意味は通じたし、伝えようとすればたいがいのことが伝わるんだな、と実感しました。逆に隅の方で縮こまっても世界は開けていかないし英語も上手くなりません。いろんな国の人と話していろんなものを、価値観を知りました。英語に限らず、世界のいろんな言語でたくさんの人と話ができるようになりたい、と強く思うようになった海外研修でした。